

内容は水産研究課ホームページ
<http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/>でも公開しています。
 更新は、原則として火曜日夜間におこないます。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
 水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温

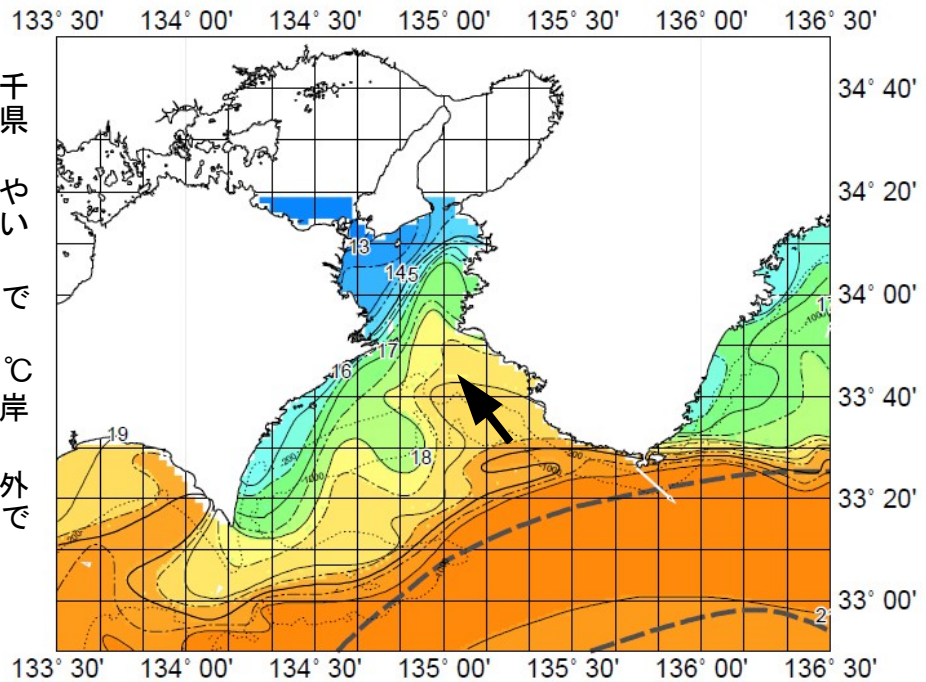
右に、4月5日時点の海況図を示した(千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成)。

黒潮は、室戸岬沖でかなり離岸(前週やや離岸)、潮岬沖で接岸(同接岸)している。

黒潮本流の表面水温は20℃～21℃台である。

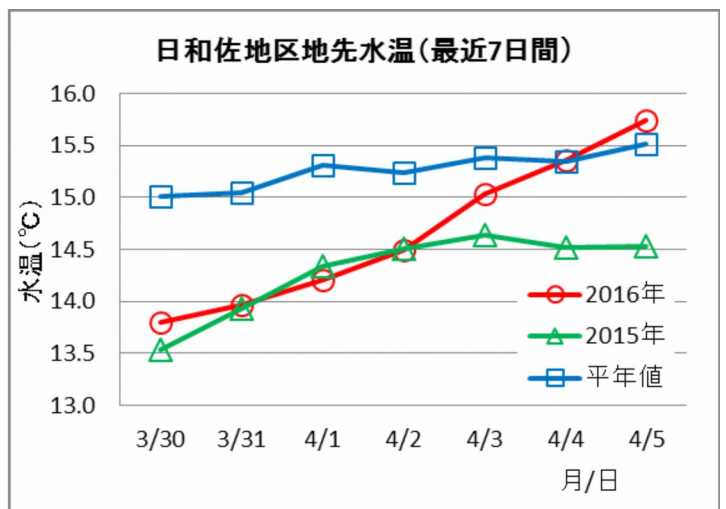
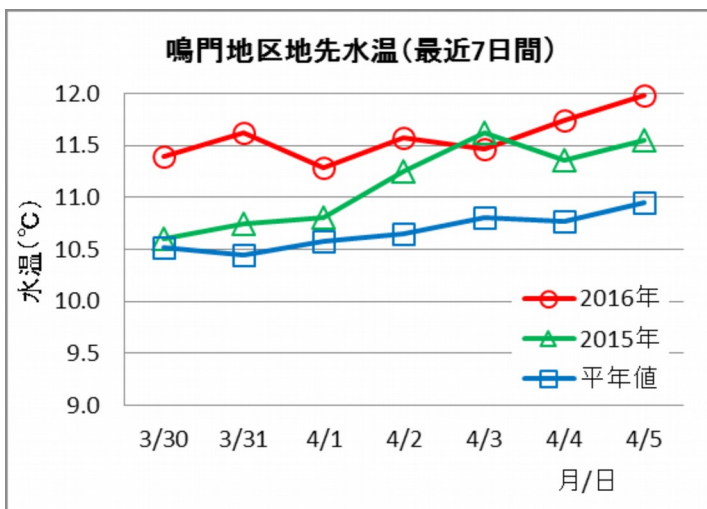
徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で12℃台、紀伊水道で13℃～17℃台、海部沿岸では15℃～17℃台である。

紀伊水道外域では、和歌山県沿岸に外洋から暖水の流入がみられ、海部沿岸では内海系水が南下している。



2. 地先水温

最近7日間の地先水温は、鳴門地区は期間を通して「やや高め」の11.4℃～12.0℃、日和佐地区は「やや低め」～「平年並み」で13.5℃～14.6℃、牟岐地区は「やや低め」～「やや高め」の14.3℃～16.4℃でいずれも上昇傾向にある。



※平年並み: 平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め: 平年値±0.5℃以上1.5℃未満、高め/低め: 平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め: 平年値±2.5℃以上

※平年値 鳴門地区: 1981年～2015年の平均値、日和佐地区: 1982年～2015年の平均値、牟岐地区: 1991年から2015年の平均値

3. 週間予報

黒潮は、潮岬沖において「接岸」～「やや離岸」、室戸岬沖において「かなり離岸」～「やや離岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地区で引き続き「やや高め」、日和佐地区でも「平年並み」～「やや高め」で推移する見込み。

漁況

1. 紀伊水道(標本漁協数:2)

船びき網:前週は出漁がなかったが、今週は2日間の出漁があり、シラスが1.6トン(1日1隻当たり72kg)水揚げされた。

釣り:前週に引き続き、タチウオが特大主体に0.4トン(同26kg)水揚げされた。

2. 海部沿岸(標本漁協数:4)

延縄:アカムツが中主体に0.3トン(同15kg)、シロサバフグが大主体に0.2トン(同20kg)水揚げされた。

建網:メジナが0.2トン(同11kg)、メジロが0.2トン(同11kg)、ブリが0.2トン(同10kg)水揚げされた。

小型定置網:さば類が小主体に前週から増えて5トン(同182kg)、カタクチイワシが0.3トン(同17kg)水揚げされた。

大型定置網:さば類が小主体に前週から減ったものの5トン(同1,087kg)、メジロが0.6トン(同65kg)、ハマチが0.3トン(同41kg)、スルメイカが小主体に0.3トン(同29kg)、マアジは前週から大きく減って特大主体に0.3トン(同29kg)、クロダイが大主体に0.2トン(同26kg)、イシダイが前週から大きく減って0.2トン(同22kg)水揚げされた。

釣り:メジロが0.3トン(同8kg)、サワラが大主体に0.2トン(同17kg)水揚げされた。

漁獲量集計表(抜粋) 2016年3月28日~2016年4月3日

紀伊水道2漁協、海部沿岸4漁協から聞き取り

海区	漁業種類	出漁隻数(のべ)	魚種	漁獲量(kg)	1日1隻当たり 平均漁獲量(kg)	銘柄	前週比※
紀伊水道	船びき網	22	シラス	1,575	72		
	釣り	15	タチウオ	397	26	特大主体	→
海部沿岸	延縄	18	アカムツ	266	15	中主体	↗
		10	シロサバフグ	203	20	大主体	→
	建網	21	メジナ	241	11		↗
		21	メジロ	238	11		↗
		16	ブリ	153	10		↘
	小型定置網	28	さば類	5,082	182	小主体	↗
		19	カタクチイワシ	331	17		→
	大型定置網	9	さば類	6,523	1,087	小主体	↘
			メジロ	587	65		↘
			ハマチ	325	41		↘
			スルメイカ	269	30	小主体	↘
			マアジ	259	29	特大主体	↘
			クロダイ	231	26	大主体	→
イシダイ			198	22	大主体	↘	
釣り	39	メジロ	309	8		→	
	10	サワラ	168	17	大主体	↗	

※200%以上:↗、120%~200%:↖、80%~120%:→、50%~80%:↘、50%未満:↙
前週の水揚げがない場合は空白